

平成 29 年 7 月

SC（セーフコミュニティ）にかかわる区民への啓発活動の取り組み

～区行事や諸会合の機会を活用した具体的実践例の紹介～

福与区 SC 推進協議会

福与区 SC は平成 27 年 10 月 18 日発足以来、箕輪町のモデル地区として活動を行っています。その中で本協議会の課題として、SC に関する区民の理解や認知が十分とは言えないことが挙げられます。SC の活動推進においては、SC についての理解を深めながら、区民一人一人が自分の出来ることをして安全安心な福与区づくりに参画しようという意識の醸成が欠かせないと考え、次のような取り組みを進めてきました。

<クイズ形式の研修>

平成 29 年 2 月 24 日に開催された平成 28 年度末総会において、出席者（50 名）を対象に研修「セーフコミュニティ あなたはどのくらい知っていますか?」を実施しました。

パワーポイントを使い、SC についてクイズ形式で行いました。「SC の意味」「SC のキーワード」「区内の危険箇所」「高齢者が望む支援とは」「災害時における避難所」「ヒートショック対策」「あいさつ運動」「命のカプセル」「危険予知トレーニング」等 10 問に隣同士で相談しながら楽しく取り組みました。



第5問

主として高齢者の区民が日常生活で最も支援が必要と感じているのは、「〇〇」である。

答 「雪かき」

第6問

災害時における福与区の第1次避難所は、福与公民館です。では第2次避難所はどこでしょう。

答 南小学校

<長野県神城断層地震DVDの視聴>

平成 29 年 5 月 12 日開催の平成 29 年度総会では、協議終了後、3 年前に発生した長野県神城断層地震を記録した「白馬村震災記録 復興へのキセキ」のDVDを出席者（50 名）で視聴しました。

地震直後の生々しい映像の数々に言葉を失いながら食い入るように見つめる参加者の姿が印象的でした。また完全に崩壊した家がたくさんある中で、1 人の死者も出さなかったのは、日頃からの助け合いが活かされたことを知り、改めて隣同士の絆の大切さを実感したひとときでした。



<区民運動会での取り組み>

毎年開催される区民総参加の福与区民運動会は、7月9日、福与農村グラウンドで今年も盛大に行われました。種目の中に今年で3年目となる〇×クイズがありました。出題される5問について、7つの常会から各10名の参加者が相談しながら答えていきます。

今年度もSCに関する出題を依頼されたので、次のような問題を投げかけ考えてもらいました。

問題 ふるさと農道の法定速度は時速60kmである。 → 答 〇

この問題については、ふるさと農道は時速50kmとっていた区民も多く驚いていたようでした。正解発表後に、少し時間をもらい、ふるさと農道は近年交通量が増加している中、通学路でもあり子どもたちや区民の安全安心のために県公安委員会に速度規制のお願いをしていること、本年度中には時速50km規制が実現しそうなこと等について話をさせてもらいました。

区民運動会は区民の300名余が一堂に会する場でもあり、今後もこうした機会を活かしていきたいと考えています。



【〇だと思う人は、ローフのこっち側でーす！】

<これからの取り組みについて>

区内のある常会では、9月に行われる防災訓練がマンネリ化していることへの反省から、常会内のSC委員の発案で訓練終了後に常会公民館で、総会で視聴した長野県神城断層地震のDVDを視聴することになっています。

このように従来からある区・常会内の行事等みんなが集まる機会をとらえ、安全安心への意識を高めたり自分に出来ることは何かについて考えたりすることにつながることを願って取り組んでいきたいと思っています。